

## 鎌田地区のあらまし

鎌田地区は、奈良井川と田川が合流する位置に形成された湧水地帯に位置しています。この地域の開発は、建武の新政(1333年～1336年)の際、足利尊氏に従って手柄をあげた小笠原貞宗が、その功績によって信濃守護に任命され、小島の井川の地に守護所(井川城)を構えたことにより始まります。

明治7年に笹部村、高宮新田村、両島村を含めた7村が合併し信楽村となり、翌年に小島村、鎌田村、征矢野村を含めた8村が合併して筑摩村となりました。明治22年には町村制の施行により、筑摩村の一部であった小島区、鎌田区、征矢野区と信楽村から分村した笹部村、高宮村、両島村を含めた8つの区域が合併し松本村が誕生しました。そして、大正14年に松本村は松本市に編入し今日に至ります。

鎌田地区は、比較的早くから開発された、井川城(昭和に上区・中区・下区に分町)・征矢野・鎌田・両島・笹部・高宮の8町会と、明治以降、あるいは昭和20年以後に開発された、中条町・中条南・五月町・月見町・南原町・弥生町・昭和町・石芝町・石芝東の9町会を合わせた17町会で構成されています。

## 鎌田地区お宝マップとは

鎌田地区お宝マップは、平成27年度から実施した「お宝発掘事業」で集まったお宝と鎌田地区にある文化財をひとつにまとめました。

お宝発掘事業では、まだ広く紹介されていない文化財や建物、町会として大切にしていきたい人や特技を持っている人、そして町会の中にある自慢の風景・穴場スポットや町会独自で開催しているイベントや季節の催しなど、お宝の種類は問わずに各町会の中でお宝だと思うものを出品していただきました。そして、歴史的なものや歌、人など、3年間で34ものお宝が集まりました。

本マップには出品していただいたお宝の中から、いくつかを抜粋して紹介しています。(①～⑥のお宝については選出理由と共に紹介しています)

まだ発見されていない鎌田地区の魅力はたくさんあるはずです。ぜひ、マップを見ながら地区内を散策して新しいお宝を発見してみたいかがでしょうか?



🌸 お宝マップを片手に鎌田地区を歩いてみよう! 🌸

5/16

各お宝の  マークに立ち寄った日付を記入。  
全て埋まれば、鎌田歴史博士になれる...かも。

